



みんなで減量、経費も削減

環境生活課 ごみ減量推進係 ☎(232)2114

町は、「指定ごみ袋制」によりごみ処理を有料化しています。

税金で賄うごみ処理経費

「指定ごみ袋制」の導入前は、ごみ処理にかかる費用は全て町負担でした。平成6年から、増え続けるごみを減らし、資源の再生利用を推進するため、「ごみ処理の有料化」に取り組みました。これは皆さんのごみの量に応じてごみ処理経費の一部を公平に負担していただくものです。資源物を再利用するまでのさまざまな処理に費用がかかるため、有料としています。



プラスチックを手作業で選別する様子

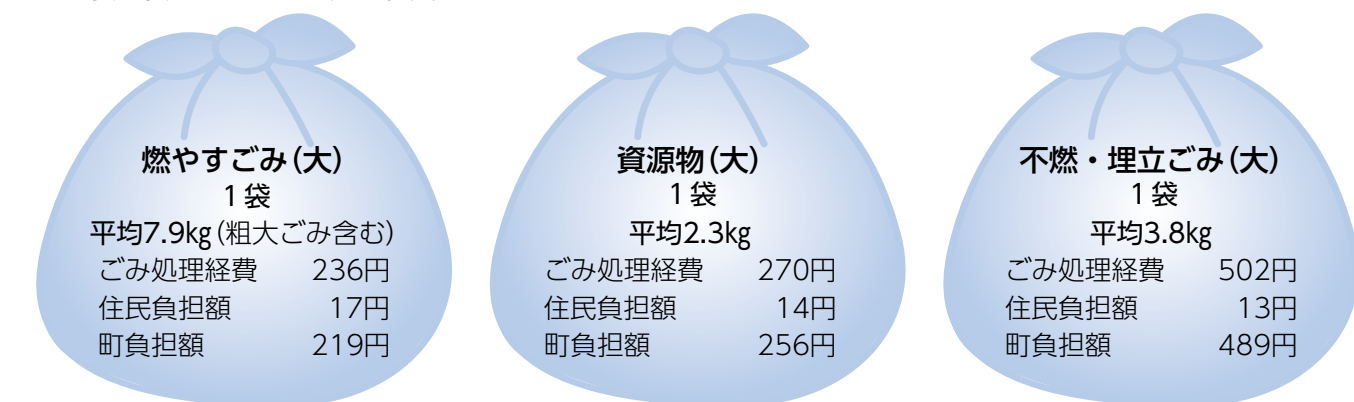
ごみ袋有料化の効果

ごみ量に応じた負担が生じ、ごみを減らす経済的メリットが認識しやすくなり、減量とリサイクルが進むことが期待できます。ごみ処理に費用がかかると意識することで、ごみになりにくい商品選びやごみを出さない工夫、分別やリサイクルを進めることにつながります。ごみ問題は私たちにとって最も身近な環境問題です。環境に優しい消費活動へライフスタイルを見直してみませんか。

平成29年度の処理実績

皆さんが負担するごみ処理経費の一部「住民負担額」が全体に占める割合を下図で表しています。
指定ごみ袋(大)でみた「住民負担額」の割合は、燃やすごみ7.2%、資源物5.2%、不燃・埋立ごみ2.6%です。

■ごみ袋1袋あたりのごみ処理経費



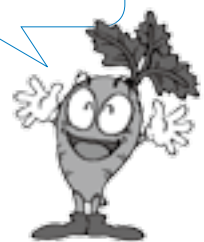
- ※1 「ごみ処理経費」は、菊池環境保全組合のごみ処理経費とごみ収集経費の合計
※2 「住民負担額」は、指定ごみ袋の販売代金から指定ごみ袋の作成原価と販売手数料を差し引いた額

■町民1人当たりの年間排出量

	燃やすごみ	資源ごみ	不燃・埋立ごみ	総収集量 (粗大ごみなどを含めた量)
平成27年度	169kg	19kg	4kg	194kg
平成28年度	173kg	21kg	6kg	203kg
平成29年度	169kg	18kg	4kg	194kg

※各年度末の住民基本台帳人口を基に算出
※総収集量は、「燃やすごみ、資源ごみ、不燃・埋立ごみ」の他、粗大ごみ等を含んでいるため合計は一致しません。
※年間排出量は、「ごみステーションに出された量」と「直接菊池環境保全組合へ持ち込まれた量」の合計

ごみ問題はとても身近な問題なんだ！ごみ問題に関心を持って、みんなで地球にやさしい暮らしを進めていこうね！



けがをする恐れがあります 外来植物「メリケンソウ」に注意

環境生活課 環境係 ☎(232)2114

南アメリカ原産の外来植物「メリケンソウ」は、公園や庭、空き地の芝生などに生育し、5月～6月ごろに実を付けます。この実の種子が固いとげ状で、触ると刺さってけがをする恐れがあります。

■各地で生育域を広げています

このメリケンソウは特定外来生物に指定されていますが、最近では広域的な繁殖が確認されており、注意する必要があります。

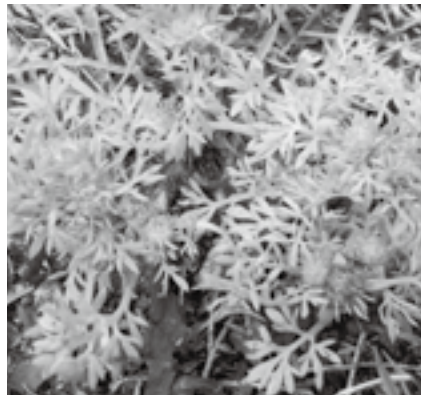
危険な時期は、堅い実を付ける5月～6月ごろです。実はバラバラになりやすく、飛散することによって繁殖域を広げます。

また、芝生や草むらでは直接座らない、手を付かない、はだしで歩かない、などの注意が必要です。

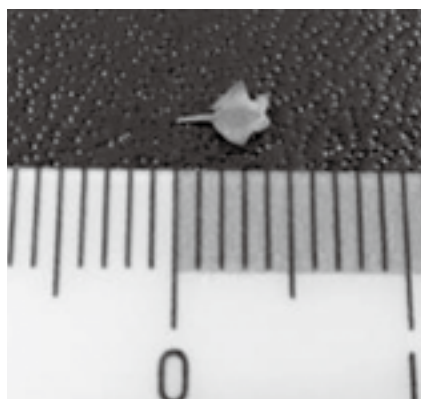
■駆除の時期

発芽の時期は秋ごろで、3月ごろに開花するため、花を付けて堅い実になる3月ごろに抜き取る方法や、除草剤を使う方法が有効です。

なお、種が固くなった時期の刈払い機による刈り取りは種子を拡散させるため望ましくありません。また、実が固くなった時期に素手で抜き取ることは危険です。種子が飛散し生育域が広がらないよう、駆除する際にはご注意ください。



公園に生えている様子



とげの部分

平成31年度のごみ収集カレンダーを配布

平成31年度のごみ収集カレンダーを配布しましたので、祝日などでごみ出し日の変更となる日はカレンダーで確認してください。

カレンダーは、町のホームページ「ごみ出しカレンダー」にも掲載しています。

「ごみの分け方・出し方」の冊子などが必要な場合は、役場関係施設で受け取ることができます。

また、ホームページリニューアルに伴い、ごみの専用ページを新設しています。ごみの分別方法について、品目別で検索ができるようになりましたのでご利用ください。

ごみ出しに関するお願い

- 必ず午前8時30分までに決められたごみステーションに出しましょう。
- 菊陽町の指定袋に入れましょう。



■申し込み・問い合わせ
環境生活課 ごみ減量推進係 ☎(232)2114

リサイクル活動へのご協力をお願いします

菊陽町では、リサイクルによる資源物の有効利用を推進するとともに、地域コミュニティの形成を促すため再生資源の集団回収活動に対して補助金を交付しています。

資源物を地域の集団回収に出すことで、処理経費が抑えられるだけでなく、地域の活動資金として支援することにもつながりますので、ごみの再資源化・減量へのご協力をお願いします。



■申し込み・問い合わせ
環境生活課 ごみ減量推進係
☎(232)2114